

県政トピックス

かごしま県からのお知らせ

県政の動き

4月20日(月)～6月20日(土)

4月 4月22日(水)

★知事と若手経済人(奄美大島・喜界島地域)との意見交換会

4月23日(木)

★「さつまの匠」第1号認定証授与

4月23日(木)

★県立奄美図書館開館および記念式典

4月24日(金)

★未成年者飲酒防止・飲酒運転禁止県下タスキリレー開会式

4月24日(金)

★コンビニエンスストアと協働事業に関する協定を締結

4月29日(水)

みどりの感謝祭

5月 5月9日(土)

川内川水防演習

5月9日(土)～10日(日)

★平成新茶まつり

5月14日(木)

★肥薩おれんじ鉄道アテナント知事表敬訪問

5月15日(金)

「看護の日」記念事業

5月15日(金)

かごしま宮農塾「夜間塾」開講

5月17日(日)

県障害者スポーツ大会

5月17日(日)

★県総合防災訓練・県下一斉防災点検

5月21日(木)

防災気象講演会

5月22日(金)

県犯罪のない安全で安心なまちづくり県民会議

5月24日(日)

第5回関西かごしまファンデー

5月26日(火)

県共生・協働の農村(むら)づくり運動推進協議会

★は写真入りで紹介

TOPICS 01 4月22日(水)

知事と若手経済人(奄美大島・喜界島地域)との意見交換会

また、知事は意見交換会にあわせて、宇検村のマンゴー園や黒糖焼酎工場、木材チップ工場、宇検村活性化センター「結いの館」などを視察した。



マンゴー園を視察

伊藤知事と若手経済人(奄美大島・喜界島地域)との意見交換会が大島郡瀬戸内町で開催され、奄美大島・喜界島地域のさまざまに分野で活躍している若手経済人20人が、地域における教育問題や農業後継者などの諸課題、奄美群島の世界自然遺産登録への取り組みや今夏の皆既日食を契機とする観光の振興策などについて、知事と熱心に意見交換した。



意見交換会の様子

TOPICS 02 4月23日(木)

「さつまの匠」第1号認定証授与



熟練技能者が日本一をかけて互いの技能を競い合う全国競技大会、第25回技能グランプリ(平成21年3月に兵庫県で開催)に鹿児島県選手団として参加した佐藤隆洋さん(志布志市在住)が、競技職種「建具」で全国第2位に入賞した。県はこれを受けて、平成14年度に創設した『「さつまの名匠」および「さつまの匠」認定制度』により、佐藤さんを「さつまの匠」第1号に認定し、4月23日に開催した「21年春の技能検定合格者激励会」の席上で、認定証の授与を行った。



TOPICS 03 4月23日(木)

県立奄美図書館開館および記念式典

奄美市の奄美高校敷地内で建設をすすめていた奄美図書館が、4月23日開館し、伊藤知事や関係者によるテープカット後、図書貸出などの利用者サービスを開始した。

開館当日は、予想をはるかに上回る1000人を超える来館者でにぎわった。この奄美図書館は、14万冊余りの蔵書を有し、奄美における中核的な図書館としての役割を担うと同時に、これからの奄美地域の将来を担う人材育成と生涯学習の拠点として期待されている。



TOPICS 04 4月24日(金)

未成年者飲酒防止・飲酒運転禁止県下タスキリレー開会式

未成年者の飲酒問題や、飲酒運転による重大な事故が大きな社会問題となっている中、これらの防止・根絶に向けて、県内の焼酎メーカーや卸売業者、小売業者など酒類に関わる業界が連携し、県下をタスキでつなぐ「タスキリレー」が開催された。

これは、昨年度から業界が自主的に実施しているもので、関係者は「薩摩焼酎」の認証ブランドマークを紹介した、そろいのTシャツを身につけ、「節度ある健康的な飲み方」をPRした。また、「焼酎歴史探訪」をテーマにウォークラリーも行い、多くの県民が参加した。イベントの趣旨が広く浸透し、大きな実を結ぶことが期待される。



TOPICS 05 4月24日(金)

コンビニエンスストアと協働事業に関する協定を締結

本県では、おとし9月の株式会社南九州ファミリーマート、株式会社ローソンに続き、株式会社サークルKサンクスおよび南九州サンクス株式会社との間で協働事業の実施に関する協定を結んだ。

協定を結んだコンビニエンスストアでは、企業の社会貢献活動の一環として、これまでに県政情報コーナーの設置や、本県の食材を使用した商品の開発・販売、森林保全のための募金活動など、さまざまな取り組みを進めてきている。

今回の協定で県内のほとんどのコンビニエンスストアが協働事業を展開することとなるが、今後とも、地域密着型のコンビニエンスストアの特性を生かした地域の活性化や、県民サービスの向上のためのさらなる取り組みが期待される。



TOPICS 06 5月9日(土)～10日(日)

平成新茶まつり

また、日本茶インストラクターの指導のもと、自分で急須で入れたお茶を楽しむ百円茶屋などが実施され、多くの来場者でにぎわった。



5月9日、10日の2日間、鹿児島中央駅前のアミュ広場において、県茶業会議所、南日本新聞社の主催による「第12回平成新茶まつり」が開催された。

会場では、「かごしま新茶」の代表銘柄が一堂に会し、試飲・宣伝販売を行った。



TOPICS 07 5月14日(木)

肥薩おれんじ鉄道アテンダント知事表敬訪問

肥薩おれんじ鉄道が、サービス向上の一環として、車内サービスを提供するために採用したアテンダント（接客乗務員）3名が、5月14日に伊藤知事を表敬訪問した。

アテンダントは、肥薩おれんじ鉄道が県の「ふるさと雇用再生特別基金事業」を活用して雇用したもので、土・日・祝日に鹿児島中央～出水駅間を運行する直通列車「オーシャンライナーさつま号」の川内～出水駅間で、7月から車内販売や観光情報提供などを行う予定。

アテンダントが乗車する「オーシャンライナーさつま号」は、鹿児島中央駅を午前9時40分に発車する。



TOPICS 08 5月17日(日)

県総合防災訓練・県下一斉防災点検



枕崎市で県総合防災訓練を実施し、警察、自衛隊、消防、自主防災組織など64機関・団体、約1500人が参加した。

地震・大雨・竜巻などを想定し、情報伝達、救出・救護、水防工法、ライフライン復旧など、44種目の訓練を実施した。

今回は、新たに枕崎港での海難救助訓練や超大型台風による高潮災害に備えた地域外への集団避難訓練のほか、現場で早期医療活動を行う災害派遣医療チーム(DMAT)が参加し救助隊との連携訓練も実施された。

また、県下一斉防災点検も4月21日から5月22日までの期間に県内全域で実施し、災害危険箇所や工事の進捗状況などに関する防災点検を行い、防災意識の向上を図った。

